

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18					
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	1				子どもたちが安心、安全に過ごせるよう職員配置をしています。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18					
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	18					
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	17	1				子どもの姿からの活動づくりを大切に、よりプログラムが豊かになるようにしていきます。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	12	2		コロナ禍では難しいと思う。しな い方がいいと思う。	コロナウィルスの状況等を考慮しながら、子どもの様子に応じて検討していきます。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18					
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18					
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	1				引き続き、モニタリングや送迎時の場を活用し、保護者への支援も行っていきます。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	11	2		コロナ禍では難しいと思う。しな い方がいいと思う。	保護者からのニーズを捉えながら保護者交流の場を検討していきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	1				
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	1				
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	3				引き続き、定期的なおたよりの発行をしていきます。
	14	個人情報に十分注意しているか	17	1				
非常 時等 の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	5	1			保護者の方に分かるような形で周知していきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	6				避難訓練計画に基づいて、訓練を行います。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	17	1				
	18	事業所の支援に満足しているか	18				満足しているが、閉所や休みが 多いのが残念です。	利用者のニーズにお応え出来るよう、開所日等を検討していきます。

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したもので

児童発達支援事業所における自己評価結果

討議年月日:令和 4年 3月 16日

公表:令和 4年 3月 28日

事業所名 デイサービスACT

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3			
	2 職員の配置数は適切である	3			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3		子どもの姿や状況に合わせて環境づくりをしています。	引き続き、子どもの姿や状況、障がい特性に応じた保育環境づくりをします。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3			
業務 改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3			

	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	1	職員の資質向上のため、外部研修への参加等を行っています。	引き続き、正規職員、パートスタッフへの研修機会を設け、資質向上を図ります。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	3			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		療育計画の検討会議を設け、保育内容を検討を行っています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	3			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3		保育後の振り返り、日誌への記録をして、次回のプログラムの検討をしています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3			
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3				
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3			保護者の実態に合わせて関係機関等へつなぐ支援をしていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	1		必要に応じて、各関係機関との連携を図っていきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	1		必要に応じて、主治医や医療機関との連携を図っていきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3		引き継ぎ資料を作成し、移行先への訪問・引継ぎを行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		3		必要に応じて、引き継ぎ資料の作成等を行なっていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		3	コロナ禍の為、行うことができませんでした。	コロナウィルスの状況や、子どもの様子を踏まえて、必要に応じて機会づくりをしていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3			
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3			引き続き、保護者実態に合わせた、研修等の家族支援プログラムを行っています。	
保護者への説明責任	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3			
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3		保護者からの申し入れのある際には、個別にて相談等の対応を行っています。	

仕等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		引き続き、毎月のおたよりの発行をし、保育予定等の周知をしていきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	3	外部に持ち出さないようにしている。必要時には責任者に許可を取り持ち出すようにしています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	定期的に、地震・津波・火災の訓練を行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	保護者と発作の状況を書面と口頭にて確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3		必要に応じて、対応をしていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	管理者へ報告し、改善点の検討をしています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業における自己評価結果

討議年月日:令和4年3月16日

公表:令和4年3月28日

事業所名 デイサービスACT

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			
	2 職員の配置数は適切である	3	1	基準以上に職員を配置している。	引き続き子どもたちが安心、安全に過ごせるよう職員配置を行っていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			引き続き、子どもに合わせた環境設定をしていきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4			
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1	年に1回以上、研修を受けています。	必要に応じて研修の機会を設けていきます。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			さらに活動内容が豊かなものになるよう、職員が学習を深めていきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		デイリーを作成に、日々のとりくみ内容や、役割分担を確認しています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		情報を伝えあい、子どもの姿や保護者の思いをスタッフ間で共有しています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		子どもの様子や取り組みの評価反省を行い、次回に改善できるようにしています。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		必要に応じ、モニタリングを行っています。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	1	発作等の対応については保護者を通じて主治医と確認をしています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4			引き続き、必要に応じて行います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4			引き続き、必要に応じて行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3	公園などへ出かけ、地域の子どもの関わり合いができるようにしています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		懇談や送迎時に、保護者と子どもの様子の共有をしています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3	実施できていません。	必要に応じて行いきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		個人懇談などで悩みや困りごとを聞き取り、必要に応じて助言や支援を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4	保護者会は開催できていません。	保護者のニーズ等を捉え、必要に応じて開催して行きます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1	日々の活動内容をおたよりにし、定期的に発行しています。	引き続き、定期的なおたよりの発行をしていきます。
	35	個人情報に十分注意している	4			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	事業所単位ではなく、感染対策、規模縮小をして法人全体として行っています。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			引き続き、避難訓練計画に基づいて、訓練を行います。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			必要に応じて、対応します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		管理者へ報告し、改善点を検討しています。	